

センターだより

NO. 2

平成 19(2007)年 5 月 2 2 日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町 2 - 1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

学校マネジメント研修がリニューアルしました!

これまでの学校マネジメント研修をリニューアルし、若手のリーダーを育てる連続研修(ヤング・リーダー育成講座)と従来の中堅リーダーを対象にした連続研修(学校パワーアップ研修)を実施することになりました。忙しい毎日を送っている先生も、時には学校を飛び出して、他校の若手教員とつながりながら、明日の学校づくりのリーダーをめざして研修に参加してください!!

ヤング・リーダー育成講座(学校マネジメント研修)

要項は後日配付

[若手の次期リーダー候補:ステップアップ研修終了後~10年研]

講座番号	研修内容
1	学校づくりに欠かせない教育法規(先生たちが意外に知らない教育法規)
2	ヤング・リーダーのグランドデザインのまとめ方演習 (明日の学校をシミュレート)
3	説得・納得・共有・・・お互いを切磋琢磨!(討論のすすめ)
4	教育コミュニティの創造(地域の学校づくりを考える)
5	子どもの心をストレッチ(子どもの人権感覚を育てる)

学校パワーアップ研修(学校マネジメント研修)

[中堅リーダー:10年経験者研修終了程度~]

第1回目の講座はすでに実施いたしました。2回目以降の必修講座については、5月末まで申し込みの受付を延長します。

講座番号	研修内容	日時
6	吹田の教育を改革する~吹田市教育委員会からの指導事項を読み解く~	5/11(金)
7	公教育が守るものは何か?	5/28(月)
8	小中一貫教育で脱教育システム疲労 参加教員が事前に、他市の小中一貫教育の取組を調べ、レポート。	7月~10月に 実施予定
9	子どものSOSへの対応(生徒指導) 子ども家庭センターor子ども政策室スタッフからの報告を受けて、グループ討論	7月~10月に 実施予定
10	子どもの心のバリアフリーをめざして(人権教育)	7月~10月に 実施予定
11	選択研修 学校教育と法規	5/18(金)
12	選択研修 教育論文作成演習	5/22(火)
13	選択研修 集団討論演習	5/24(木)

平成 19年度特別支援教育推進事業と校・園内での取り組みについて

1. 平成 19 年度特別支援教育推進事業の紹介

巡回相談の実施

平成 19 年度より、特別支援教育が全国一斉に開始となりました。吹田市立教育センターでも、LD、ADHD、高機能広汎性発達障害の子ども支援のため、巡回相談をより充実させていきたいと考えています。巡回相談依頼の前には、まず、各校・園で事例検討会（下記の 2 - ）を行っていただきます。その後、指導がうまくいかなかったり、子ども理解が難しい場合に、巡回相談を教育センターにご依頼下さい。発達相談員、委嘱された巡回コーディネーター（小 4 名、中 4 名）が、幼稚園や学校に巡回し、子ども理解や支援への具体的なアドバイスを行います。

特別支援教育研修

基盤整備研修 3 回、コーディネーター養成研修 7 回を予定しています。今年度は「発達障害とは」といった基本的な研修を含め、新しく特別支援教育コーディネーターになられた先生方にもよりわかりやすい内容にしたいと考えています。また、その他に「虐待と発達障害」についての講演も予定しています。

事例研修

昨年に続き「学習の課題」、「行動の課題」について事例研修を行います。事例は、各校園から希望によって出していただきます。いま、指導に困っているケース、うまく学習が進まない事例等の資料を検討し、最終的には、子ども理解、具体的な手だてを参加者でまとめることが目標です。参加希望者は全員参加できます。各校・園よりお申し込み下さい。事例検討を希望される場合は、事前に教育センターまでお知らせ下さい。実施日時・回数と講師はすでに各校・園に配布しました案内をご覧ください。

保護者支援

- ・啓発研修（年 1 回） 講演形式の研修会です。19 年度は 1・2 月頃に予定しています。
- ・ペアレントトレーニング（年間 2 回： 期 7 名・ 期 7 名予定） LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害児の保護者が家庭において子どもへの適切な支援を行い、子育てにおける精神的ストレスの軽減を目的としています。第 期とも全 7 回で、1 回 2 時間です。対象は吹田市在住で LD、ADHD、高機能広汎性発達障害（高機能自閉症・アスペルガー障害）と診断された幼児・通常学級在籍の児童・生徒の保護者で 7 回連続して受講できる方に限ります。

2. 校・園における理解・支援のシステムと留意点

校・園の発達障害の子ども理解と支援を進めるために、次のような点に留意し、システム化を図ってください。

診断名が保護者から伝えられた子どもは必ず報告してください。

19 年度より特別支援教育が始まり、保護者から診断名が伝えられるケースが多くなると考えられます。保護者から診断名が伝えられたときは、担任の段階でとどめず、必ず管理職まで報告してください。

診断名が保護者から伝えられた子どもの事例検討会を開いてください。

管理職に報告後、特別支援教育コーディネーターを中心に事例検討会を開催します。ア、子ども・保護者のニーズの確認、イ、子ども理解（学習・行動）、ウ、支援の手だてについて話し合います。その記録は個別の指導計画として保存します。一定の期間の後、指導がうまくいったかどうかを評価するために、再度会議をもちます。

学期毎の「気になる子ども報告会」などで、課題をもつ子どもの情報を集めてください。

これは、どの学校・園でも行われていると思います。

子どもの状態に応じて事例検討会を開き、対応を検討してください。

の会議で対応の必要性が認められたり、状態の改善が求められるケースについて、個別に関われます。ア、子ども・保護者のニーズの確認、イ、子ども理解（学習・行動）、ウ、支援の手だてについて具体的に検討します。

6月の研修紹介

危機管理研修 (6月18日)

山田第三小学校・山田第三幼稚園にて

今年度の危機管理研修のポイント

隣接している幼稚園・小学校との連携

業間休憩時の想定

緊急事態発生の連絡方法

不審者侵入時の教職員の対応

各学校の危機管理マニュアルや研修

の中での課題との関連を図る

吹田警察生活安全課の協力をいただきながら実施致します。

各学校・園からの参加、そして、研修後の各学校での研修内容の伝達をよろしくお願い致します。

研修内容を学校で広げ、学校改善に役立ててください!

ステップアップ研修

「人権教育研修」

(6月11日)

自分自身の気づきから始める人権教育
「これって、セクシャルハラスメント??」
講師：府教育センター 佐藤主任指導主事

ワークショップや事例研究を通して、自分自身の気づきとして学びます。

セクシャルハラスメントに対する認識を高めるとともに、それだけでなく幅広く人権感覚を磨くことができると思います。

今年度からスタートしたステップアップ研修・・・参加者が主体的に参加できる研修を工夫していきたいと思っております。



教職3～5年目の方の多くの参加をお待ちしています。まだ、申し込みます!

研究報告書 (紀要101号)

昨年度の教育センター研究グループの活動成果をまとめた「研究報告書」(紀要101号)を発行しました。各校園で、すぐにでも取り組めるような実践例などが紹介されていますので、ぜひ活用ください。(幼稚園1冊、小・中学校は各学年に配付します。)

情報教育研究グループ

- ・ICT機器の活用と教育の情報化
- ・学校間交流の紹介例、電子情報ボードを活用した授業展開等

発達理解研究グループ

- ・漢字や数の理解の誤り傾向、学習のルールと指導の手だて等

学校事務研究グループ

- ・小中一貫教育推進に関わっての学校事務連携のあり方、学校経営参画に向けた学校事務職員の役割

小学校英語研究グループ

- ・担任が行う小学校英語の活動例
(自己紹介・あいさつ、動物・食べ物等)

幼・小連携研究グループ

- ・-あそびから学びへ- 幼少連携の工夫できることの例、交流の例等

国語力向上研究グループ

- ・ことばの力を高めるための具体的実践例
- ・国語科を通じた小中連携の授業実践例
- ・幼小連携の実践例「いっしょにお話つくろうよ」
不登校児童・生徒支援事業について
- ・「光の森」活動...学習活動、学校との連携について
- ・家庭訪問活動について